楽しそうに働く母の背中を追いかけて

| 第55回芸術祭全国大会]振り袖着付けの部で最優秀賞[内閣総理大臣賞]を受賞

洋子さん(新屋)

▶▶プロフィル

東京の山野美容芸術短大を卒業 都内の美容院に就職。帰郷後、母が経営する豊田 市内の「ゆうび美容室」で、同じく美容師の姉と働いて いる。母の渡辺みゆきさんは昨年度、同大会「花嫁着 付けの部」で最優秀賞を受賞しており、親子での快挙 達成となった。

第五十八回芸術祭全国大会 も優秀と認められま

柴山洋子殿

表彰状

芸術祭全国大会…財団法人国 際美容協会が毎年開催している 58 回の歴史をもつ美容師と着付 け師の大会。「カットスタイリン グの部」や「振り袖着付けの部」「花 嫁着付けの部」など12部門でその 技術とアイデアを競う。 ▶大会で着付けた振り袖。バラの

花をイメージした帯の結びが独創 細部の仕上がりも評価された



働きながら母の着付け教室で着付けの技術を

都内の美容室に就職。 美容芸術短大で美容師と着付け師の資格を取得し 仕事を選んだのは自然な流れでした。 東京の山野 容師ごっこ」だった彼女にとって、美容師という ろから見て育った柴山さん。ままごと遊びも「美 きさんが、楽しそうに生き生きと働く姿を幼いこ 賞」を受賞した柴山洋子さんを紹介します り袖着付けの部で見事、最優秀賞「内閣総理大臣 に横浜アリーナで行われたこの大会に出場し、 美容師で着付け教室の先生でもある母渡辺みゆ 3年後、 実家の美容室に戻

含めて42人。モデルにヘアーセットと化粧をし した」と思い返します。 秀賞で名前を呼ばれた瞬間を「あまりにびっくり 発表。3位の賞が発表されても名前を呼ばれず できない」と思ったほどの出来栄えでした。「もし る力はすべて出せた。もう一度やれと言われても けの正確性などをミリ単位で審査して採点します。 ます。 着付け後、11人の審査員が帯の結びや着付 さらに15分で振り袖を着付けるまでの技術を競い そこから20分で体型補正と長じゅばんの着付け 舞台袖で肩を落としていました。それだけに最優 かしたら3位か4位に入るかも」と期待した結果 して頭が真っ白になり、喜ぶこともできませんで 猛練習のかいあって本番では「今の自分の持て 「振り袖着付けの部」に出場したのは柴山さんを

り返し練習して挑みました。 決意で、帯をバラの花に見立てた独自の結び方を 考え、どんな結果になろうとも後悔しないよう繰 の負担が大きく「今回で区切りをつけたい」という 毎回大会前には2カ月間、毎晩遅くまでの練習が 続きます。そのため練習を見てくれる母や家族 できる着付けができず悔しい思いをしてきました。 全国大会の出場は今回で3回目。 前回まで納得

学びました

きませんが、いつかは母と同じ『花嫁着付けの部 た今「母の着付け教室で生徒さんの真剣な姿を見 式の着付けで引っ張りだこに。ようやく一段落し に挑戦したいです」とさらに意欲を燃やします。 っこり。「経験も技術も足りないのですぐにとはい ていたら、また挑戦したくなってきました」とに 大会後、受賞のうわさを聞きつけた人から成人



ゆちゃん。お友達と遊ぶのが大好きで、春か

明るく社交的で、誰とでも仲良くなれるあ

『春が待ち遠しい』

歩果ちゃん(黒笹)

2平 月成 718 日生

父・健一さん

母・久美さん

に「元気で優しく、何にでも前向きな子にな 弟の亮人くんの面倒を見てあげるあゆちゃん ら幼稚園に通うのを楽しみにしてるんだって。

ってほしいな」とお母さん。

お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、 「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

お子さんの写真をひまわりネットワーク

小^こ森り 『機械いじりが大好き』 優作くん(黒笹) 父・宏樹さん

育ってほしいな」とお母さん。 ぴり甘えん坊なゆうくんに「素直にすくすく かけっこをして元気に遊んでいるよ。ちょっ きなわかばお姉ちゃんと、かくれんぼや追い 最近は掃除機や携帯電話がお気に入り。大好 身の回りの機器に興味いっぱいのゆうくん

母・いずみさん 2平 月118 日生



モザイク画にしたものでしょうか。

誾 ある物をモザイク画にしました。これは何を

前川太郎くん(打越)まえかわ たろう

平成20年 2月11日生

ヒント…この時期は空気が乾燥しています。

父・彰平さん **国** 沙苗さん

『幸せ笑顔でいっぱいの食事』

元気に育ってね」とお父さん、お母さん。 好きなたろうくんに「わんぱくでもいいから うな笑顔を見せてくれるんだよ。お散歩が大 うくん。初めて見るものに興味津々なんだっ て。ご飯を食べているときは、いつも幸せそ つかまり立ちができるようになった、たろ

みよしに対する意見、感想を記入し、

はがき、

所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦広報

【応募方法】①答え(例:ポスト)②郵便番号③住 (少し離れて見てみると分かりやすいかも) 火の元には十分気を付けましょう。

・応募期間=3月2日から4日まで ▶対象=4月生まれで3歳未満の児・応募方法=秘書広報課へ電話で☎(32)8357・2月生まれの応募は、9人でした。(抽選により掲載決定)

図書カード500円分をプレゼントします。 送りください。 正解者の中から抽選で10人に、 ファクス、または電子メールで秘書広報課へお 「あて先・送信先】

はがき…〒470-0295 三好町役場秘書広報課(住所の記入不要)

電子メール…⊠hisyokoho@town.aichi-miyoshi.lg.jp ファクス…風(34)6008

(1月号の正解と当選者)

「締め切り」2月10日(火)必着

嶋清子、藤嶋鐵二(敬称略 田萌奈実、白濱愛梨、竹下真結子、谷真代、藤 佳子、幸地ゆうき、後藤慎一、佐々木靖子、柴 答え:ある(平仮名にすると、「ある」のグループ には濁点「 」がある) (全36通正解35通)大塚千

では使用しません。抽選後は破棄します。 ※ご応募いただいた個人情報は、抽選以外の目的



町内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。 また、三好町ホームページのTopics(まちの話題)では、広報掲載以外の写真もご覧いただけます。 http://www.town.aichi-miyoshi.lg.jp/miyoshi/topics.html



練習の成果は出せたかな

書き初め大会(南部小学校)

南部小学校で1月7日、全校児童467人が参加して書き初 めが行われました。町内小中学校で毎年この時期に開かれて いるこの行事。1、2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で各学年 ごとの課題に取り組みました。冬休みの間に練習してきた成 果を発揮しようと、筆を走らせる子どもたちの表情は真剣そ のもの。すらすらと書き進める子や手本と見比べながら慎重 に筆を運ぶ子などの姿が見られました。6年生の課題「広い 世界」の文字を書き上げた男の子は「まあまあの出来でした。 去年よりもうまくなったと思います」と、自分の作品を眺め て目を細めていました。





新年のごあいさつ

新年町民交礼会





新年を迎え1月5日、新年町民交礼会がサンアートで開催されました。初めに久野知英町長が「今年は、来年1月4日の市制施行に向けて目標をしっかり定め取り組んでいく年。法令を遵守し、知恵を絞り、皆さんの力をお借りしながら前向きに力強く臨んでいきます」とあいさつ。続いて加藤康之議長と小道たすく県議会議員がそれぞれあいさつに立ちました。その後、およそ150人の参加者は、お互いにあいさつを交わしたり、握手をしたりして会話を弾ませていました。

地域防災のリーダーとして活動

三好町消防団出初・観閲式





新年の初めに消防団員の防災意識と士気の高揚を図ろうと1月10日、消防団出初・観閲式が南部小学校で行われました。初めに町内14分団の団員およそ130人を久野知英町長が「災害に強い地域づくりを進めるために、地域防災のリーダーとして日ごろの訓練に励んでください」と激励。消防活動の功労者への表彰が行われた後、山村博実団長が「地域に密着した消防団として、団員一丸となって取り組んでいきます」とあいさつしました。最後は全員で「火の用心」を三唱し、今年の無火災・無災害を祈願しました。





伝統の正月遊びに夢中

おはなしカルタ会



おはなしカルタ会が1月10日、中央図書館で開かれました。ボランティアサークル「みよしっ子」のメンバーが紙芝居「ぽっかぽか」のお話を紹介した後、親子などおよそ30人が童話を題材にした特大のカルタ取りを楽しみました。句が読まれると子どもたちは、カルタを見回して素早い反応でカルタを奪取。中にはお手つきをする姿も見られましたが、最後は取ったカルタの数を数えて、満足そうな笑顔を見せていました。その後、大小さまざまな独楽を使った遊びも行われ、日本の伝統的な遊びを満喫しました。



学校給食センターでは、町内の保育園や小中学校の1日の給食およそ8,400食分を調理しています。その学校給食について理解を深めてもらおうと毎年1回開催している見学会が1月9日に行われました。10人の参加者は、職員から給食の調理工程などの説明を受け調理室や洗浄室などを見学。学校栄養職員の伊藤千賀子さんからその日の給食の献立メニューや栄養などについて話を聞きながら試食をしました。女性の一人は「昔、自分たちが学校で使っていた食器なども見ることができて、懐かしかったです」と話していました。

学校給食ができるまで

学校給食センター見学会





教育現場に生かす取り組み

新年教育研究大会





町内の教育関係者およそ350人が集まり1月7日、新年教育研究大会がサンアートで開催されました。教育行政の発展と教員の資質の向上を図ろうと毎年開かれているこの大会。開会行事では、大森香代子教育委員長のあいさつに続き、特別支援教育の充実の功績で県教員表彰を受けた佐久間章貴教諭に賞状が手渡されました。また研究・研修報告会では、教育研究員や県外研修参加者が成果を発表。子育てボランティアわいわいギルド代表の星一郎さんによる「自分が『好き』と言える子に」と題した講演も行われました。

ロビーに響く美しい音色

ロビーコンサート





気軽に生の演奏を楽しんでもらおうと1月15日、サンアートでロビーコンサートが開かれました。年6回開催し、毎回さまざまなジャンルの音楽などを楽しめるこの催し。今回は3組の皆さんが出演し、ピアノソロやフルート四重奏、歌声などを披露しました。会場に訪れたおよそ70人は、チャイコフスキー「ロシアの農村風景」やモーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」、アメイジング・グレイスなど13曲を堪能。観客は皆、ロビーに響く美しい音色に聴き入っていました。